

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1193300058		
法人名	社会福祉法人 一寿会		
事業所名	グループホームひがしまつやま寿苑		
所在地	埼玉県東松山市柏崎628-1		
自己評価作成日	平成23年10月15日	評価結果市町村受理日	平成24年1月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.fukushi-saitama.or.jp/saitama22/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 埼玉県介護支援専門員協会		
所在地	埼玉県さいたま市浦和区仲町2-13-8 ほまれ会館3階		
訪問調査日	平成23年11月10日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>利用者一人ひとりが、毎日いきいきとした生活が送れるための環境を作れるよう取り組んでいる。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>当ホームは周囲が畑に囲まれ、緑豊かで静かな環境にある、開設4年目の施設である。二階建て、一階には小規模多機能型住宅介護事業所があり、二階部分が2ユニット、全室トイレが設置された明るく開放的なグループホームである。今年、「思いやり支えあい」の理念を取り入れ、利用者に向き合う時間を大切にするため職員の勤務時間の変更、ソフト食の導入、施設内のIT化などホーム内の大幅な仕組みを改革した。また、管理者と職員も一体となって積極的に行事を行う等、研修に力を入れている。24時間シート(出来ること、出来ないことがわかるシート)を活用し日々のケアに役立てるなど質の向上が図られている。「利用者」に先に意見を聞くようにしている。」と言う、職員の利用者本意の精神が統一されたレベルの高い事業所である。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求め ていることをよく聴いており、信頼関係ができてい る (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面があ る (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域 の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者 とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者 や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情 や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足 していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおお むね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な 支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念を基本とし、事業所独自の理念を作成している。	法人理念と事業所独自の理念を文書化し、職員、管理者ともその実践を目指している。「助け合いの精神」の理念を強く心にとめて、日々のケアに活かしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の幼稚園との交流や、地域公民館主催のイベントなどにも参加している。又日常的な散歩においても積極的な会話が行われている。	地域行事のかかし祭りに毎年参加し受賞している。一方、近くの幼稚園との交流も密で、運動会へお誘いを受けたり、お祝いの品を製作し渡している。園児や園長先生の来所も時々ある。地域の方にはホーム夏祭りに参加していただくなど日常的な交流が盛んに行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場面などを通じて行っている。又日常の交流においても会話を通じて実施している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に、ホームでの取り組み、行事の内容、監査の実施状況についてなどの報告を行っている。	運営推進会議は、定期的に多職種の方が参加して開催されている。出された意見は施設運営に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	電話連絡や、市へ訪問した時などできるだけ密に連携をとるようにしている。	市町村との連携は密である。今年、併設施設建設のため行政のほうからの連絡も多く、協力関係が築けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者及び職員で身体拘束防止の委員会を作り、定期的に活動している。又職員全体会議の中でも理解を深めるための勉強会を実施している。	身体拘束防止委員会がホーム内で組織化され毎月一回開催されている。職員の意識レベルも高く一丸となって身体拘束防止に向けて勉強しようとする姿勢が見られる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を通して高齢者虐待についての理解を深めるとともに、利用者の変化に気付くよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者及び介護支援専門員については理解を深めるよう取り組んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用開始時において契約締結の為の時間を十分にとり説明し、理解・納得を得られるようにしている。改定時同様。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との面談の場を多く持ようにしており、意見や要望があるときは、管理者を含め都度対応するようにしている。	毎日様々な人がホームに訪れ、会話中心でコミュニケーションが図られている。 ホーム内で嗜好調査アンケートを行い、結果を施設運営に活かしている。また利用者の好きなものは自由に持ってきていただいており制限はしていない。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的な会議を設け、意見交換の他必要な内容については対応するようにしている。	常勤非常勤合わせて年2回自己評価制度の面接があり、そこでの要望は取り上げて事業に反映している。ホーム内では毎月一回定例会議があり、全職員の共通理解をすすめたり研修に活用され意見交換がシステムとして根付いている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員との面談を実施することによって、職員一人ひとりの向上心につながるよう取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に外部研修へ参加すると共に、内部での勉強会も定期的に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議や、介護支援専門員連絡協議会など積極的に参加している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	できる限り本人の話しやすい環境の中で、悩みや、不安なことを話していただき解消できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が困っていることについての状況や経緯についてしっかり話を聞き、家族のニーズを把握した上で、事業所としてどのような対応ができるか話し合い、安心して利用できるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	困っている内容をしっかり聞いて的確なサービスにつながるよう努めている。利用開始時は体験利用などしていただき安心して利用できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の作業を一緒に行い、共に過ごすようにしている。利用者から学ぶ事も多く、日々いきいきとした生活が送れるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られた時などは利用者の様子をできるだけ詳しく伝えながら、コミュニケーションを密に取り入れる事で、ご家族の思いや・意向を聴く事ができ、ご本人と一緒に支えていく事ができるようになった。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の希望により外出を進めたり、面会に来られた時は場所を提供し馴染みの関係が継続されるよう努めている。	馴染みの美容院へ行けるようにしたり、外食会を企画したり、出来るだけ住み慣れた地域への外出支援を個別性をふまえて行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりの意見や意向を尊重した上で共同生活が円滑にできるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後でもご家族が来苑されその後のご様子など伺う機会も多くある。また、介護支援専門員を介し相談を行なっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	共同生活を送る中ではあるが、できる限り一人ひとりの意見や希望を取り入れるよう努めている。	センター方式はもちろんのこと、事業所独自の24時間シート(出来ること、出来ないことがわかるシート)を作成し日々のケアに活用している。また利用者の気持ちを汲み取るようにし、まず利用者の意見を先に聞くようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始する前にできる限り多くの情報(生活歴や生活環境)を聴いて利用者の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の1日の生活のリズム(起床・食事・睡眠・排泄など)を把握するよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の関わりの中で、ご本人ご家族の意見を聴いて介護計画書を作成するように努めている。	初期計画はケアマネジャーと利用者の介護担当者、看護職等が協同でケアプラン作成し、6ヶ月ごとの見直しも定期的に行われている。定期以外にも利用者の体調変化等見られた場合は、状況変化に則したケアプラン作成が出来る。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の経過記録を記入し、利用者一人ひとりの健康状態や日々の暮らしの状況を職員全員が共有し、定期的に介護計画の評価・見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人や、ご家族の状況の変化及びご本人の状態の変化などにより、随時ご家族との連携をとり対応したサービスを提供できるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの受け入れ、介護実習生の受け入れを行うほか、近隣の幼稚園との交流も盛んに取り入れている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の希望するかかりつけ医にしている。施設の協力医療機関については、月2回往診していただいている為ほとんどの方がかかりつけ医を希望している。	医療は利用者、家族の希望通りにかかれるようにしている。定期に月2回、協力医療機関の往診が行われている。日々の健康状態の相談も協力医療機関に出来る体制となっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設内に看護職員を配置しており、常にかかりつけ医との連携が取れるようになっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した病院に面会に行くとともに、医療機関の相談員との連携が密に取れるように努め、退院後にスムーズな支援ができるようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人・ご家族の意向を踏まえた上で、かかりつけ医と相談の上対応するようにしている。	入所時に重度化した場合の確認書があり、ご家族に良く説明し同意がなされた上でホームを利用していただいている。治療が必要となった場合は適切な医療にかかれるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署より訪問していただき、緊急時の対応などの研修も取り入れている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練を実施するとともに、運営推進会議を通して地域との連携もとれるよう努めている。	昨年の外部評価目標達成計画をふまえ備蓄品の確認がなされ、災害対策としてステップアップしている。3月11日の震災の日は職員家族も駆けつけ日ごろの避難訓練の成果も出ていることを実感した。開設時の防災協定書もある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	会話については敬語で行うようにするとともに、利用者一人ひとりを尊重した対応するよう努めている。	入職時にはプライバシーについて研修を行い、思いやり、受容と共感出来るように指導している。職員全員でプライバシーについては配慮がなされている。特に利用者への声かけなどは馴れ合いにならないように注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	外出などできる限り本人の意向をく組み入れられるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの生活を大切にしよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみについては、ご本人でできる方は行っていただき、困難な方は援助するようにしている。理美容については、資格を持った人に本人の希望を聴いて行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付けや配膳など利用者と共に行なっている。また、従来の刻み食をソフト食に変更し形があるものをいつまでも召し上がられるよう支援している。	食事づくりは外注し、厨房にて調理してもらう。ご飯と汁物は職員がキッチンで作る。今年からソフト食(形状は原型であるが柔らか素材)を取り入れることにした。利用者と一緒に配膳したり、食事を楽しんでいる様子が見られた。ご飯とパンも選べるようになっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要に応じて食事摂取量、排泄の量を計測し健康管理に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している。必要に応じて協力歯科医院を受診している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄リズムを理解し、声かけ誘導をする事で、トイレでの排泄が増えオムツの使用が減るよう努めている。	各部屋にトイレがあるので排泄はスムーズに支援できている。排泄チェック表を活用し、できるだけオムツをしないケアに努めている。気持ちよくトイレが使用できるように職員は環境整備に努力し清潔である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を多くとるよう援助するとともに、排泄チェック表をつけ、必要に応じた対応を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者一人ひとりの希望を取り入れ、平均週3~4回程度入浴されている。	利用者の夕方入浴したい希望を取り入れ、職員の勤務時間を調節するなど最大限の支援をしている。利用者の身体能力に合わせた入浴機器(特浴、個浴など)を選定し適切に、また心地よく入浴できるように職員皆で考えている。夜、足が冷える利用者には、足浴を取り入れている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活パターンを把握し、日々状況に合わせた支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医との連携を取るとともに、関連薬局の薬剤師とも相談できるように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴を大切にするとともに、ご本人のできる事を大切に支援を行うように努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	晴天の日はほとんど毎日散歩に行くほか、外食会や、味覚狩りなど外出の機会を多く取り入れるように取り組んでいる。	日常的に散歩など外出が出来ており、行事も活発で、地域に出て行っている。施設内に菜園があり、日々の収穫した野菜を利用者と職員と一緒に調理し、昼食に出されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望及びご家族の理解のもと、ご本人管理で所持できるようになっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望によって電話できるようになっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を大切にしており、花を飾ったり、行事ごとの飾り付けを行うようにしている。	ホーム内は秋らしい手作りされた壁飾りや生け花もあり、季節感いっぱいであたたかみのある雰囲気である。ホーム内でフラワーアレンジメント教室が月一回開催されている。そここに寒暖計と湿度計、空気調湿機があり、職員は留意しながらケアを行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールや談話コーナーにソファを設置しており、他の利用者やご家族と団らんでできるようになっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドやタンス、カーテンについては備え付けているが、希望の方は使い慣れたものを自由に持ち込んでいただいている。	ほとんど制限なく持ち込みは可能にしている。ご家族との思い出の品や、写真など身近に置いていただけるよう個別性を尊重し、気持ちよく過ごしてもらえるようにしている。電動介護ベッドは備え付けで有る。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用されている方一人ひとりの状況に応じた安全管理を行っている。		

目標達成計画

作成日: 平成 23年 12月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1			利用者の生活パターンに合わせた支援の継続	センター方式の活用、職員の勤務体制の見直しを図ることで、より利用者本位の支援を目指す。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。